

## 令和5年度 英語科シラバス

教科	外国語科	科目	英語演習	単位数	3	年次/コース	高校3年生/特進
使用教材	Active Writing システム英単語						
副教材	Vision Quest 総合英語						

## 1. 担当者からのメッセージなど（学習方法など）

- ・高校文法の基礎を再度固め、入試問題に対応できる英文法力を身につけます。正答できなかった演習問題は必ず復習するようにしてください。
- ・授業中は解説だけでなく、ペアワークや個別最適化学習を行います。「なぜそうなるのか」を常に意識すると共に、分からない部分は他者に質問し、疑問点をなくしていきましょう。

## 2. 学習の到達目標

基礎的、発展的な英語表現を身につけ、自分の身の回りから社会問題に至るまで、英語になおして表現することができる。

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：知識・技能	B：思考・判断・表現	C：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	<p>【聞くこと・読むこと】</p> 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物（課題）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物（英作文課題、リフレクションシート）</li> <li>・授業中の言語活動の取り組み状況（宿題の取り組み状況、ペアワーク、意見発表）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業中の言語活動の取り組み状況（宿題の取り組み状況、ペアワーク、意見発表）</li> <li>・単元ごとの表現課題</li> </ul>
(成績割合) テスト70% 成果物30% 【学年末に5段階の評定にまとめます】			

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準
			A	B	C	
1	Lesson 1	主語を決める	○	○		・例文を元に、英語では主語を明確にした上で文を作ることができる。
	Lesson 2	自動詞と他動詞/SVC	○	○		・自動詞と他動詞，群動詞を適切に選択して，正しい英文を書くことができる。
	Lesson 3	SV0/SV00	○	○		・他動詞を選択し，目的語を適切に用いて第3文型と第4文型の文を作る方法を学ぶ。
	Lesson 4	SVOC	○	○		・自動詞・他動詞を使って，第2文型と第5文型の正しい英文を書くことができる。
	Lesson 5	It の表現	○	○		・日本語では明示的ではない主語や目的語を英語で適切に表すことができる。
	Lesson 6	時の表し方	○	○		・受動態のさまざまな文の作り方を学び，必要に応じて使うことができる。
	Lesson 7	助動詞①	○	○		・許可や意志等の助動詞を用いて，話し手の考えを表す英文を正しく書くことができる。
	Lesson 8	助動詞②	○	○		・習慣や推量等の助動詞を用いて，話し手の考えを表す英文を正しく書くことができる。
	Lesson 9	受動態①	○	○		・受動態の英文を，日本語に惑わされることなく，正しく書くことができる。（助動詞や進行形・完了形を含む文）
	Lesson10	受動態②	○	○		・受動態の英文を，日本語に惑わされることなく，正しく書くことができる。（群動詞や知覚動詞を含む文）
	Lesson 11	名詞を説明する①	○	○		・形容詞句で名詞を適切に修飾し，正しい英文を書くことができる。
	Lesson 12	名詞を説明する②	○	○		・関係詞等で名詞を適切に修飾し，正しい英文を書くことができる。
	Lesson 13	動詞を説明する①	○	○		・副詞等で語句や文全体を適切に修飾し，正しい英文を書くことができる。
	Lesson 14	動詞を説明する②	○	○		・副詞節を用いた正しい英文を書くことができる。
	Lesson 15	動詞を説明する③	○	○		・仮定法を適切に用いて，英文を正しく書くことができる。
	Lesson 16	比較の表現	○	○		・数量や程度を比較する英文を正しく書くことができる。
	Lesson 17	否定の表現	○	○		・部分否定や準否定を表す英文を正しく書くことができる。

2	Lesson 18	時間の表現	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～ぶりに」や「～までに」等の時間を表す英文を正しく書くことができる。</li> <li>・部分や倍数等の数量を表す英文を正しく書くことができる。</li> <li>・条件、理由、結果等を表す英文を正しく書くことができる。</li> <li>・付帯状況を表す英文や代名詞を用いた英文を正しく書くことができる。</li> <li>・基礎的、発展的な英語表現を身につけ、自分の身の回りから社会問題に至るまで、英語になおして表現することができる。</li> </ul>
	Lesson 19	数量の表現	○	○	
	Lesson20	接続詞の表現	○	○	
	Lesson21	重要な表現	○	○	
		入試問題演習	○	○	
「C：主体的に学習に取り組む態度」については、全単元において「3.学習評価」に記した方法で評価をする。					